



三浦市議会だより

第 131 号
 平成30年(2018年)2月1日
 編集：議会だより編集委員会
 発行：三浦市議会
 〒238-0298
 神奈川県三浦市城山町1番1号
 ☎ 046(882)1111内線462・463



みさき魚市場 新年初取引 ～ことし一年の大漁と航海の安全を～

第4回定例会

市有施設の指定管理者を決定

大雨被害復旧のための補正予算を可決

定例会の経過と概要

月日	曜日	会議名	内容
12月5日	火	本会議	会期の決定、一般質問
6日	水	本会議	一般質問
7日	木	本会議	一般質問、議案の審議(説明・委員会付託)
8日	金	総務経済常任委員会	議案・陳情の審査
11日	月	都市厚生常任委員会	議案・陳情の審査
15日	金	本会議	議案の審議(総務経済・都市厚生の各委員長報告・採決)、人事案件(固定資産評価審査委員会委員)、閉会中継続審査申し出、報告

平成二十九年第四回定例会は、十二月五日から十五日までの十一日間を会期として開かれました。

今定例会では、指定管理者の指定等の二十三議案を審議しました。

また、十月十四日、十五日に開催した議会報告会について結果をとりまとめ、議会運営委員会で総括を行いました。(記事七面)

〈議会だより第131号の内容〉

定例会の経過と概要	1面
常任委員会	2面
陳情の審査	3面
姉妹都市交流・行政視察報告	3面
一般質問	4～6面
議会報告会	7面
議案等の審議結果	8面
人事	8面
検討会の設置	8面
編集委員コラム	8面
次回定例会の予定	8面

常任委員会

議案の審査概要

総務経済

●専決処分の承認を求めることについて

本案は、農林水産施設等災害復旧事業に係る予算につき急務を要したため、一般会計補正予算について専決処分したものです。

(質疑の主な項目)

●九月二十八日の大雨で被害を受けた市道の状況と、復旧工事のスケジュールについて

●三浦市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

本案は、非常勤職員の育児休業について、規定の整備を行うものです。(質疑は特にありません)

●三浦市市税条例等の一部を改正する条例

本案は、地方税法の改正に伴い、個人市民税の控除対象配偶者の定義、固定資産税の課税標準の特例、軽自動車税に係る



税率の特例等について、規定の整備を行うものです。

(質疑の主な項目)

●固定資産税のわがまち特例の対象となる保育施設及び市民緑地の有無について

●軽自動車税のグリーン化特例による、平成三十年度の税収への影響額について

●三浦市手数料条例の一部を改正する条例

本案は、指定居宅介護支援事業者に係る事務について、手数料を新設するものです。

(質疑の主な項目)

●市内の指定居宅介護支援事業者の事業所数について

●他の自治体での手数料の新設状況と、本市で手数料を徴収することにした根拠について

●字の区域の変更について

本案は、岩井口土地改良事業共同施行における換地計画の策定に際し、南下浦町上宮田字向原、汁滴及び上ノ原の字の区域を変更するものです。

(質疑の主な項目)

●変更する区域内での、民有地の有無について

●要件について

●指定管理者の指定について(議案第七十四号)

(質疑の主な項目)

●四件は、いずれも指定管理者を指定するもので、一括して審査を行いました。施設の名称と指定管理者については、右下の表のとおりです。

(質疑の主な項目)

●選定委員会が行った採点の内訳を公開することの可否について

●三浦市火葬場の指定管理者を選定する際の、サービス面の審査について

(質疑の主な項目)

●勤労市民センターのエレベーターの管理について

●指定管理者は、可能であるならば市内の事業者とすることが望ましいのではないか。

●平成二十九年度三浦市一般会計補正予算(第五号)

本補正は、歳入歳出それぞれ二億九千四十三万三千円を追加するほか、債務負担行為及び地方債の補正を行うものです。

(質疑の主な項目)

●九月二十八日の大雨及び台風二十一号による被害状況と、復旧工事の内容について

●生活保護に関する扶助費が増した理由について

(質疑の主な項目)

●マイナンバー制度に関連する予算が計上されているため、本案には賛成できない。

●平成二十九年度三浦市市場事業特別会計補正予算(第一号)

本補正は、歳入歳出そ

都市厚生

●三浦市都市公園条例の一部を改正する条例

本案は、都市公園法施行令の改正に伴い、都市公園の運動施設率を定めるものです。

(質疑の主な項目)

●市内にある、運動施設を有する公園について

●三浦市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

本案は、引橋地区地区整備計画区域について、適正な建築物の誘導及び周辺における住環境の保

護を図るため、建築物の用途の制限について必要な事項を定めるものです。

(質疑の主な項目)

●地区整備計画区域を定める際の、都市計画審議会とのかわりについて

●それぞれ二百八十六万六千円を減額するものです。

(質疑の主な項目)

●市場施設災害復旧事業の内容と、今後のスケジュールについて

●平成二十九年度三浦市市場事業特別会計補正予算(第一号)



指定管理者一覧

議案	施設名	指定管理者
第74号	三浦市火葬場	(株)元創
第75号	三浦市勤労市民センター	三幸(株)
第76号	新港海業センター	(株)三浦海業公社
第77号	三浦市油壺駐車場	(一社)三浦市観光協会
第78号	三浦市民ホール	(株)三浦海業公社
第79号	三浦市老人福祉保健センター	企業組合労協センター事業団
第80号	三崎口駅第1自転車等駐車場 三崎口駅第2自転車等駐車場 三浦海岸駅第1自転車等駐車場	横浜サイカパーキング(株)
第81号	三浦市総合体育館 飯盛調整池公園 三浦スポーツ公園	(株)スポーツプラザ報徳

計補正予算(第一号)

本補正は、歳入歳出それぞれ七百九十七万円を追加するものです。

(質疑の主な項目)

●指定の期間を従来の四年間から五年間に延ばした理由について

●施設の老朽化に伴う修繕費の考え方について

●市民ホールの利用促進について

●市内経済活性化の視点から、できるだけ市内業者が指定管理者を受けられるような手法について、今後の検討を求めたい。

●指定管理者の指定の変更について

本案は、三浦市立上宮田児童会館の指定管理者の指定期間を変更するものです。

(質疑の主な項目)

●指定期間を一年間延長する理由について

委員会の活動から

都市厚生常任委員会では、散会後の委員協議会で、「三浦市立病院の経営状況について」の報告を求めました。

市立病院を訪問し、これまでの経営状況や、平成二十九年十月に策定された三浦市立病院改革プランの概要、現時点における二十九年度の決算見込みについて、総病院長を初めとした病院職員から説明を受けた後、各委員から質疑を行いました。



新たに提出された陳情

◎平成三十年度の「給与所得等に係る市町村民税・道府県民税 特別徴収税額決定・変更通知書(特別徴収義務者用)へのマイナンバー記載の中止などを求める陳情

趣旨 本陳情は、表題の事項及び同通知書にマイナンバーの記載欄を追加した「地方税法施行規則等の一部を改正する省令」の撤回を求める意見書を国に提出することを求めています。

◎「就学援助制度」改善についての陳情書

趣旨 本陳情は、就学援助制度の中で支給している新入学用品費を新入学準備金として、入学前の早い時期(一月〜三月)に支給し、保護者負担の軽減を図るよう求めています。



◎安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替労働の改善を求める陳情

◎「介護労働者の労働環境改善及び処遇改善の実現」を求める陳情

◎国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情

◎神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情

趣旨 以上四件の陳情は、表題の事項について、国または県に意見書を提出することを求めています。

常任委員会での陳情の審査結果

12月定例会では、新たに提出された陳情及び継続審査中の陳情、あわせて31件を審査しました。今回、審査を終えた陳情は、次のとおりです。そのほかの27件は、引き続き審査を行っていきます。

所管委員会	件名	結果
総務経済	平成29年度からの特別徴収税額の決定・変更通知書に受給者の個人番号を記載する件についての陳情	審議未了
都市厚生	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善について、国への意見書提出を求める陳情(平成28年提出)	審議未了
	介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現について国への意見書提出を求める陳情(平成28年提出)	
	国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情(平成28年提出)	



三浦市議会からは、総務経済・都市厚生常任委員長より、消防やごみ処理の広域化、市場の高度衛生管理化など、市の現状と課題に対する議会の取り組みについて概要を説明しました。

姉妹都市交流。

行政視察報告

本年度、三浦市議会では、長野県須坂市議会との姉妹都市交流と、総務経済・都市厚生、議会運営の三委員会による行政視察を行いました。それぞれの概要は次のとおりです。なお、議会ホームページには、報告書全文を掲載しています。

姉妹都市交流・研修

姉妹都市である長野県須坂市の市議会議員とは四年に一度、お互いの市を訪問し合い、親交を深めています。

今回は、十一月九日、十日に全議員で須坂市を訪問し、交流及び研修を行いました。

研修会では、須坂市で建設が予定されている一般廃棄物最終処分場や学校給食センターに関して、議会での審議の経過について説明を受けました。

総務経済常任委員会

十月三十日〜三十一日に富山県南砺市及び魚津市を訪問しました。

南砺市では、「南砺で暮らしません課」を設置し取り組みられている定住促進策を学びました。

これまで八十七組が成婚した婚活支援や、市外からの移住・定住を進めるためのセミナーの開催、各種補助金など、さまざまな施策について話を聞くとともに、情報交換を行いました。

都市厚生常任委員会

十月二十六日〜二十七日に北海道函館市及び亀田郡七飯町を訪問しました。

函館市では、自転車や家具等のリサイクル、食品ロス削減に向けた取り組みなど、ゴミの減量化・資源化について学びました。

七飯町では、子育てや各種の手続き情報をコンパクトにまとめた「子育てブック」、授業の一環として行っている「赤ちゃんふれあい教室」、また、



お父さんとお子さんのふれあいの時間を作りながら、同時にお母さんにもフレッシュしてもらおう時間を作る「遊んでSUNDAY パパ」など、独自の子育て支援策について話を伺うことができました。



魚津市では、三浦市で取り組んでいる市場を核とした経済活性化に資するため、港の利活用について学びました。

また、魚津港の中に設置された「みなとオアシス魚津」と高度衛生管理型市場を視察しました。

議会運営委員会

十月十九日から二十日、災害時における議会の運営方法をテーマに岩手県大船渡市及び陸前高田市を訪問しました。両市では東日本大震災時の貴重な経験や当時の反省を交えながら、市議会災害対応指針等の策定経過と内容、議会の防災訓練の重要性等のお話を伺うことができました。

また、通信手段が断れたときの対応策として、



大船渡市では公共施設にデジタル無線機を配備している事例を、陸前高田市では災害対応指針等をもとめたハンドブックを作成し、常に携帯している事例を学びました。

本市への行政視察(平成29年1月~12月)

平成29年に三浦市を行政視察で訪れた議会は、次のとおりです。

No.	月日	市名	視察事項	No.	月日	市名	視察事項
1	1月13日	宮城県名取市	環境保全と風致景観について	7	7月27日	長崎県長崎市	観光振興について
2	2月2日	千葉県富里市	USTREAMを活用した議会中継について	8	8月9日	山梨県甲府市	給付型奨学金制度について
3	3月30日	愛媛県松山市	アグリdeデートについて	9	11月7日	岡山県笠岡市	病院改革について
4	5月10日	奈良県五條市	三浦市における少数定員での議会運営について	10	11月9日	京都府宮津市	トライアルステイ&リノベーションまちづくりについて
5	5月16日	和歌山県有田市	市立病院の経営について	11	11月16日	宮城県仙台市	議会基本条例について
6	7月24日	島根県出雲市	自治体病院の経営改善について				

一般質問

質問と答弁の要旨

一般質問とは、市政全般にわたって報告や説明を求めたり、疑問をただすことをいいます。

今定例会では、十一人の議員が市政運営について市側の考えをただしました。



学びの環境を支える

国民健康保険、生活保護
日本共産党 石橋 むつみ

質問 議会報告会で中高生とディスカッションをした際に、中学生から「三浦のいいところを皆に知ってもらいたい」という発言があった。「私たちの郷土三浦」など小中学校の副読本は平成十六年を最後に個別配付をやめているが、三浦市の将来を担う子供たちに地域のことを知る機会を与えられるような手だてをとってほしい。

教育部長 各校では、保管してある冊子を、地域

学習の授業の際に印刷して配付するなど活用している。副読本は、郷土三浦を愛

することは認識するが、一方で、国保の健全運営を図る必要がある。いずれにしても、年内をめどに保険料の方向性を決めたい。

するみうらっ子の育成に有効なものとしており、活用を支援したい。

保険料の算定

質問 国民健康保険は、来年度に運営が市から県に移行されるが、県が示した保険料率での試算では、保険料が高くなる。

一般会計から国保会計への繰り入れを行う等により、市民生活を考えた額にしてほしい。

市長 低所得者にとって保険料の負担が軽くない

直しが行われていない。

神奈川県

下では、生活保護のし

おりの記載

内容や窓口

対応について調査が

されている。

本市でも、



小中学校の副読本

正しい制度の広報や市民周知を続けてほしい。

保健福祉部長 生活保護のしおりは、生活保護の相談時や保護の決定の際に活用し、要保護者に制度の内容が正しく理解されるよう説明を行っている。記載内容は、他市の状況等を踏まえて、見直しを検討したい。

半島全体での観光振興

子育て賃貸住宅、人口減少

みうら市政会 長島 満理子

※は欄外に説明を記載

質問 三浦半島地域は観光が主力産業であり、活性化のために、海や食、地域の魅力を磨いていく必要がある。

質問 これまでの取り組みは三浦市に新しい人の流れをつくる施策として、子育て賃貸住宅の事業化が進められているが、進捗状況をお聞きしたい。

市長 九月、十月に民間事業者へのヒアリング調査を、十月末に三浦半島地区の建設業者を対象とした検討会を開催した。

また、本市と同様の手法により公営住宅の整備を計画している横須賀市、松田町と連携を図ってい

るので、その手法等を参考にし、よりよい方法を検討したい。

質問 三浦市は人口減少が続いており、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」は市の重点施策である。

総務経済常任委員会で視察した富山県南砺市では、「南砺で暮らしませんか課」を設置して総合的な移住定住婚活支援施策を推進し、成果を上げて

いた。本市でも課を新設して、より大きな成果を上げるべきではないか。

市長 人口減少については、市役所全体で取り組み、課題であり、課や部を超えた連携も必要になると考えている。副市長、各部長を中心に、庁内ですっかりと連携をさせていきたい。

質問 三浦市では、定住促進策の一環として婚活支援に取り組んでいる。

先日、視察した富山県南砺市では婚活支援事業に取り組み、「婚活倶楽部」として出会いのイベントやスキルアップセミナーを開催、これまでに百七十五組のカップルが誕生している。また、「婚活応援なんとおせつ会」が成婚に向けたサポートとして活躍するなど、あの手この手で婚活を支援している。三浦

市も参考にしたい。

市長 本市は取り組みを始めたばかりで、めたばかりで、行政間での情報交換等は可能なので、こういった成功事例等を参考にしていきたい。

市長 相談コーナーが利便性のよい場所にあり、土日に開設しているれば、大変効果もあると思う。意見は大いに参考にしたい。



地域の魅力を発信

人口減少への対策は

推進体制の整備、BCP

公明党 藤田 昇

質問 三浦市では、定住促進策の一環として婚活支援に取り組んでいる。

先日、視察した富山県南砺市では婚活支援事業に取り組み、「婚活倶楽部」として出会いのイベントやスキルアップセミナーを開催、これまでに百七十五組のカップルが誕生している。また、「婚活応援なんとおせつ会」が成婚に向けたサポートとして活躍するなど、あの手この手で婚活を支援している。三浦

市も参考にしたい。

市長 本市は取り組みを始めたばかりで、めたばかりで、行政間での情報交換等は可能なので、こういった成功事例等を参考にしていきたい。

市長 相談コーナーが利便性のよい場所にあり、土日に開設しているれば、大変効果もあると思う。意見は大いに参考にしたい。

質問 前回の南砺市では、移住定住施策を推進するため、ショッピングセンター内に「南砺で暮らしませんか課」を設置し、定住空き家対策係、婚活支援係を置いている。

本市で同様の課をすぐに新設することは難しい

が、例えば、旧三崎高校跡地に建設予定のベイシアの中に移住定住相談コーナーをつくれれば、利便性は向上し、効果も高まるのではないかと。

市長 相談コーナーが利便性のよい場所にあり、土日に開設しているれば、大変効果もあると思う。意見は大いに参考にしたい。

質問 今議会において、議会BCP（業務継続計画）作成に向けた議会災害対応検討会の設置が確認された。

作成中の市のB

CPと整合を図り、議会と市職員が協力しながら策定することが必要だと考えるが、市長の考えは。

市長 情報連携の仕組み等、整合を図るべき課題が多々あると思う。情報が共有しながら進めたい。

災害時の行動指針

今議会において、議会BCP（業務継続計画）作成に向けた議会災害対応検討会の設置が確認された。

作成中の市のB



災害時の行動指針を検討

※DMO……観光物件、自然、食、芸術・芸能、風習、風俗など当該地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域づくりを行う法人

台風被害の復旧

ふるさと納税、教育環境改革

自由民主党 出口 正雄

質問 平成二十九年の台風二十一号では全国的に大きな被害があり、三浦市内でも沿岸を中心に大きな被害を受けた。

起業・移住促進支援 総務省は、地域に仕事や人を呼び込もうとする自治体を後押しするため、ふるさと納税の寄附金で企業支援や移住促進に取り組み自治体を支援すると発表した。

質問 全国学力・学習状況調査で、三浦市は全国と神奈川県との平均正答率を下回った。

質問 具体的な取り組み

この復旧に膨大な予算が必要になったため、政府は農業用施設、漁業用施設などの被害を激甚災害に指定することを決定した。本市でも災害復旧事業費に対する補助を受けることができるのか。

総務部長 激甚災害は、市町村から届け出を受けた都道府県が国に報告を

市長 起業支援を促すことによる地域経済の循環

教育長 子供たち

や移住交流の推進は、重要なことだと思ふ。三浦市では、平成三十一年度の予算編成の中でこれらの取り組みについて検討したい。

の学力を向上させるには、教員の授業力向上が最重要だと考え、全小中学校で取り組みを行っている。また、各家庭での学習習慣の確立ができるよう、学校だより等を活用して協力依頼を行っている。

飲食店に関する情報提供に課題があると認識している。イベントや情報発信など、さまざまな手法で観光消費の増加を図りたい。

連携し、被害防止に積極的に取り組んでいる。現時点で市独自に計画を策定する予定はないが、県の防除計画に沿って、被害防止や防除に取り組みたい。

ではどうか。選挙管理委員会事務局 期日前投票所の増設は、二重投票防止のために住基端末用回線の整備を要するなど課題が多く、現状では困難だと考えている。



豪雨、台風による農地への被害

高齢者に優しい町に

SNSの活用、防災・減災

無所属 下田 剛

質問 認知症サポーター養成講座の受講者には、オレンジリングが配布されている。

質問 子供たちの思いを聞く

津波からの避難

質問 市民の方に、自然

リングを着用している方だとわかるが、そのことは余り知られていない。また、リングを常に着用することは難しいため、かわるものとして三浦市独自にバッジ等を作成して、広めてはどうか。

子供たちの思いを聞く。現在、SNSやメールで、いじめや不登校等の相談ができるようになってきたが、連絡がしやすい反面、さまざまなトラブルが考えられる。敷居が高くない分、連絡を重ねて直接の面談につなげ、専門的な相談員等が対応できれば、さまざまな悩みを抱える若者世代に寄り添える町になるのではないかと。

津波からの避難。市民の方に、自然災害の際に困ると想定されることを尋ねると、津波が予想され、市外に避難したいといけなくなった場合、どのルートを通ればいいのかわからない

童・生徒にとつて身近なものであり、有効な利用方法もあると考えている。既に取り入れている自治体の利用方法や効果などについて、情報収集を行っていききたい。

まず自分の身の安全を優先し、地域の訓練などで動線を確認しておくことが大事だと考える。

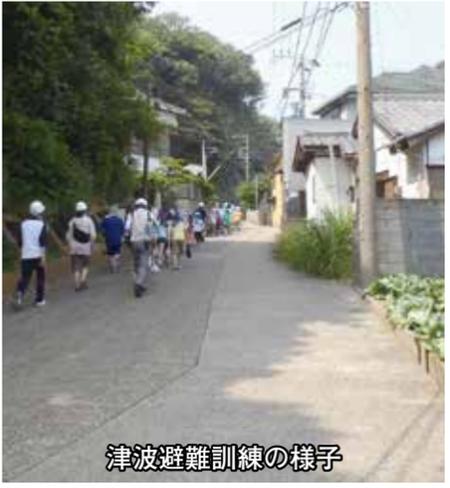
今後の介護保険料。平成三十一年度から始まる第七期三浦市高齢者保健福祉計画・三浦市介護保険事業計画では、介護サービス総体でサービス量がふえることが見込まれている。

介護保険料の大幅値上げは避けなければならぬが、市の考え方は、

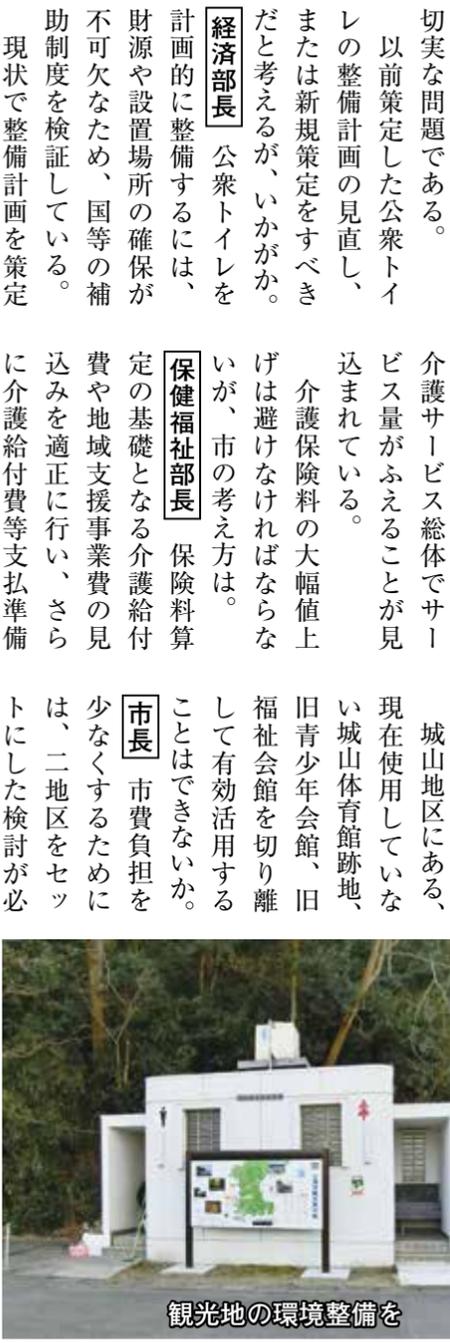
基金を活用するなどして、被保険者の負担が過大にならないように努めたい。

要である。一方で、検討の結果、城山地区の一部を切り離すことで経済的機能の導入が見込まれる場合には、区域を分けて活用することもあり得ると考えている。

保健福祉部長 オレンジリングの意義について周知を行うことの必要性は



津波避難訓練の様子



観光地の環境整備を

若い世代の転入促進

市職員の時間外勤務、配置転換

無所属 寺田 一樹

質問 都市厚生常任委員会にて視察した北海道七飯町は、子育て支援策を充実させることで、若い世代の転入をふやしている。

市長 平成三十年度には、子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠期から子育て期を通じた切れ目のない支援を行う予定である。

質問 市職員の時間外勤務、配置転換の状況に際しては、市職員の負担軽減を図る必要があるのではないか。

市長 市職員の負担軽減については、責任の所在が曖昧になり、職務の専門性が薄れてしまうという意見もある。

また、(仮称)ファミリーサポートセンター事業、(仮称)病後児保育事業の職務執行のために、時間外勤務を削減する必要性を感じており、定時退庁日を設定して職員にアナウンスしている。

ものにとどめてはどうか。**市長** 計画的な配置転換を行い、職員が新たな経験と知識を得て成長していくことが必要だと思っており、部内を中心としていない。



市の人事政策は

起立性調節障害

学力の向上、地域防災計画

みうら市政会 神田 真弓

質問 児童・生徒の長期欠席や不登校の要因の一つとして起立性調節障害がある。立っているとき分が悪くなる、朝なかなか起きられない等の症状があり、小学生の約二割、中学生の約一割が抱えていると言われている。

質問 学習支援の取り組み

この病気に対する先生方の理解と対応についてお聞きしたい。**教育部長** 起立性調節障害については、研修等を行い、教職員の理解も深まっている。

教育部長 教育委員会としては、授業の中で子供たちの学力を向上させる

対応については、担任一人ではなく学校全体で受けとめ、保護者や医療機関等と連携をとり、一人一人に合わせて進めている。

ことが最重要と考えており、教員の授業力向上に取り組んでいる。また、各学校では、夏休み中に学習会を行うなど、さまざまな工夫をしている。

教育部長 教育委員会としては、授業の中で子供たちの学力を向上させる



土砂が流入したテニスコート

介護職員の不足

災害時の情報伝達、台風被害

日本共産党 布川 照美

※は欄外に説明を記載

質問 介護職員は、二〇二五年には三十八万人も不足すると見込まれている。定着率が悪い原因の一つとして、給与が他の産業に比べて月十万円ほど低いことが挙げられる。介護職員の収入をふやすことについて、市の考えをお聞きしたい。

市長 国では、介護人材の確保に向け、収入に対する加算等の制度を拡充している。市としては、税の減免等を行うことは難しい

め、介護職員の待遇改善に向けた取り組みを一層強めていきたい。

した際は、Lアラートを介して報道機関に情報提供し、即座にテレビのトップで放送がされた。今後も複数の伝達方法を活用して、災害に関する情報を周知していきたい。

総務部長 防災行政無線を補完する手段としては、防災情報メールへの登録を推奨している。今回、避難準備・高齢者等避難開始情報を発令

このことについて、市の見解を伺う。



防災行政無線の屋外スピーカー

台風による農業被害

三十年度予算、人口減少対策

みうら市政会 草間 道治

質問 全国で甚大な被害を出した台風二十一号、二十二号により、三浦市でも、海岸線にある農地で塩害が発生するなどの被害が出ている。農業に

質問 歳出削減の取り組み

対応をお聞きしたい。**経済部長** 農協からは、主に台地畑で、収穫前の大根やキャベツに塩害が発生し、出荷に著しく支障が出たと聞いている。対応としては、国等の災害時補助制度の活用を視野に入れながら、市職

員による対応等とあわせて、地元生産者の協力もいただき、早期復旧に努めたい。

また、さまざまな部や課に関連する課題があることから、全庁的な検討を行うプロジェクトを提案するが、市の考えは。



人口減少対策は全庁的な検討を

※Lアラート(災害情報共有システム)……災害関連情報を発信する地方自治体等とそれを伝える放送事業者等が効率的に情報を共有するための情報基盤

議会報告会を開催しました

平成二十九年十月十四日、十五日の二日間にわたり、市内三地区で議会報告会を開きました。

昨年に引き続き、共通テーマ「平成二十八年度決算について」のほか、会場別テーマを定め、テーマに関係する市民の方々を招いて報告を行いました。

また、今回は初の試みとして、二地区で、グループ分けをしてディスカッションを行いました。

初声地区

開催日：十月十四日(土)
会場：潮風アリーナ
参加対象者：国際ソロプチミスト三浦、新日本婦人の会三浦支部、はっぴー子育て応援団、子育てサークル
参加者数：二十名

会場別テーマ：「子育てについて」

○子育てを経験してきた上で感じたことや課題に思ったことについて、三グループに分かれてディスカッションを行い、結果を発表していただきました。

グループ「もみじ」
・自然環境はよいが、遊び場がない。
・子育てを卒業した親と、若い親の交流の場があったら。
グループ「一星」

・子育て支援センターを手厚くしてほしい。
三地区にあったらいいのだが。
・グループで遊ぶなど、お母さんたちの自主的な取り組みがある。
一人ほっちにさせない子育てを。
グループ「ハート」
・不便なのは、集まれる場所、遊び場、雨の日の遊ぶ場所がないこと。

・三浦のトリプルP(親を支援し、親育てをするオーストラリア発祥のプログラム)を県や国にアピールして、三浦からもつと発信を。

アンケートから

・若いお母さんの意見を聞けてよかった。
若い人たちの意見を市政に生かせるように、議会は頑張してほしい。

・活発な意見が出て、三浦市の眠っている力を感じた。
・本日は話し合ったことが少しでも実現されるといいと思う。



ディスカッションの様子

三崎地区

開催日：十月十五日(日)
会場：市役所議場
参加対象者：市内在住・在学の中高校生
参加者数：二十三名
(ほか傍聴七名)

会場別テーマ：「夢をかたる」について

○将来の三浦について、四グループに分かれてディスカッションを行い、結果を発表していただきました。

Aグループ

・幼稚園や保育園が多いので、子育て支援をもっと広げて、子育てができる町に。
また、高校や大学を



4グループに分かれて「どんな町にしたい？」

誘致して、三浦市で就職することに関心づけられたら。

Bグループ

・三浦海岸の海を有効に利用できないか。
毎年開いている市民スポーツ大会を三浦海岸で行ったり、海の家を利用して写真スポット等をつくらせて、若い人を集めるといいと思う。

Cグループ

・高齢者への配慮や夜間の安全など、もっと住みやすい町、ずっと住んでいたいと思えるような町に。
さらに、今ある環境を残すことで活気のある町にするというと思う。

Dグループ

・三浦の伝統行事や特産物、店舗等につ

行政に働きかけていく。

Q

観光地のトイレは企業や寺などに協力していただき、トイレを借りるような仕組みづくりをしてはどうか。

A

オール三浦で地域観光を盛り上げていけば、おっしゃるような仕組みができる可能性がある。

Q

「うらり」を中心とする、三崎下町の雨天時の観光対策はどう考えるか。

A

大変難しい問題で、具体的な方策はないのが実情だが、雨よけのためのひさしを



観光資源の活用策は

をすることができてよかった。
三浦市がよくなっていくことを考えるとワクワクした。私達の意見が役に立つかはわからないが、少しでも三浦市に貢献できたら嬉しい。



全体での発表

議会報告会の総括

議会報告会の開催後、各地区を担当した班から結果報告を行い、次回開催に向けた課題等を話し合うための総括を行いました。



次回に向けて意見交換

◎各地区の報告書やアンケートの集計結果、当日の資料は、三浦市議会のホームページでごらんいただけます。

本会議での議案等の審議結果

〈全員賛成で議決した議案〉

【議案】

- 第66号 専決処分の承認を求めることについて
- 第67号 三浦市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- 第68号 三浦市市税条例等の一部を改正する条例
- 第69号 三浦市手数料条例の一部を改正する条例
- 第70号 三浦市都市公園条例の一部を改正する条例
- 第71号 三浦市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例
- 第72号 工事請負契約の変更について
- 第73号 字の区域の変更について
- 第74号 指定管理者の指定について (三浦市火葬場)
- 第75号 指定管理者の指定について (三浦市勤労市民センター)
- 第76号 指定管理者の指定について (新港海業センター)
- 第77号 指定管理者の指定について (三浦市油壺駐車場)

- 第78号 指定管理者の指定について (三浦市民ホール)
- 第79号 指定管理者の指定について (三浦市老人福祉保健センター)
- 第80号 指定管理者の指定について (三浦市三崎口駅第1自転車等駐車場ほか)
- 第81号 指定管理者の指定について (三浦市総合体育館ほか)
- 第82号 指定管理者の指定の変更について (三浦市立上宮田児童会館)
- 第84号 平成29年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算 (第1号)
- 第85号 平成29年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算 (第2号)
- 第86号 平成29年度三浦市市場事業特別会計補正予算 (第1号)
- 第87号 平成29年度三浦市公共下水道事業特別会計補正予算 (第2号)
- 第88号 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

〈賛否が分かれた議案〉 ○賛成 ●反対

番号	件名	審議結果	みうら市政会					日本共産党			公明党	自由民主党	無所属		
			岩野 匡史	長島満理子	神田 真弓	出口 真琴	草間 道治	布川 照美	石橋むつみ	小林 直樹	藤田 昇	出口 正雄	下田 剛	木村 謙蔵	寺田 一樹
【議案】 第83号	平成29年度三浦市一般会計補正予算 (第5号)	原案可決	※	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○

※議長は表決に加わらない

議会を傍聴しませんか

平成30年第1回定例会は、次の日程により開かれる予定です。

月日	曜日	会議名等
2月22日	木	招集告示
26日	月	議会運営委員会 (日程・審議方法等決定)
3月1日	木	本会議 (施政方針)
2日	金	本会議 (一般質問)
5日	月	本会議 (一般質問)
6日	火	本会議 (一般質問)
7日	水	総務経済常任委員会
8日	木	都市厚生常任委員会
12日	月	予算審査特別委員会
13日	火	
14日	水	
15日	木	
16日	金	
22日	木	本会議 (委員長報告・採決)

※請願・陳情の提出期限は2月23日 (金) です。

- ◆三浦市議会の本会議及び委員会は公開されています。傍聴を希望する方は、市役所本館4階の受付で、傍聴人受付簿に住所、氏名、年齢を記入してください。
- ◆三浦市議会では、「市民に開かれた議会」の実現に向けた取り組みとして、本議会のインターネット中継を行っています。
- ◆お問い合わせは議会事務局へ
電話 046-882-1111 内線462・463

人事

市長から、次の方を固定資産評価審査委員会委員として選任するための議案が提出され、原案のとおり同意することに決しました。

固定資産評価審査委員会委員

中西 章法氏



検討会の設置

十二月十五日、議長の諮問機関として検討会を設置しました。今後、大規模災害発生時等における三浦市議会の対応を定めるため、先進事例等の情報を収集・研究し、議論を進めていきます。

議会災害対応検討会

会長 草間道治

副会長 小林直樹

下田剛 石橋むつみ 神田真弓 出口正雄 藤田昇 出口真琴

編集委員コラム

我が三浦は、三方に広がる青い海、相模湾から望む富士山の絶景、天城山に沈む真っ赤な夕陽、緑豊かな自然に溢れ、気候は温暖で、新鮮な魚や野菜とマグロの食のまちで、人情に厚く、子どもから高齢者まで住み良い最高の天地であり、私はそんな三浦が大好きです。そんな三浦への来遊客数は年間六百万人を超え、まぐろきっぷを片手に二階建てのオーブントップバスやレンタサイクルが走り、市内を賑やかせています。更なる観光振興を図るためにも、観光振興ビジョン

の策定とともに、基幹産業である水産業・農業と観光との連携により、地域経済の活性化を図り、新たな雇用の創出、移住定住促進など、人口減少抑制対策の推進を官民連携で市民の皆様と共に進め、三浦の再生を実現して参ります。

藤田 昇

